

小国町立病院外来診療体制

平成30年10月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 柳谷(稔)1・22・29日 鈴木(佑)15日	伊藤副院長	伊藤副院長	伊藤副院長	伊藤副院長
				二診	阿部院長	山形大 奥本(和)	阿部院長	阿部院長	阿部院長 4日は休診 山形大 松田(暁)4日
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30		伊藤副院長				
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 高橋(辰)1日 栗野(裕)15日 齋藤(あ)22日 鈴木(康)29日	山形大 藤井(隆)2・9・16日 齋藤(あ)23・30日	山形大 横山(淳)3・17日 小林(信)10・24・31日	山形大 目黒(亨)4・18日 森(福)11・25日	山形大 中村(和)5・12日 橋本(多)19・26日
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室 にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00			公立置賜総合 根本(信)2・16日 松木(宏)9・23日 林(雅)30日		公立置賜総合 長谷川(浩)4・18日 大楽(勝)11・25日	山形大 高野(満)5・19日
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 清野(学)5日 榊(宏)12日 堀川(翔)19・26日
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 蘆野(光)1・22日 柴田(健)15・29日				
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30			櫻井 文明	櫻井 文明	櫻井 文明	
眼科	午前	8:00-11:30	10:00-13:00			山形大 富樫(敬)			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:00	13:30-16:30 (16:00まで待合室 にお越しください)		山形大 寺田(小)		山形大 杉山(元)3日 後藤(崇) 10・17・24・31日		山形大 成澤(健)5・19日 野内(雄)12日 杉山(元)26日

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也 4日は休診	飯田 俊也 5日は休診	飯田 俊也 6日は休診	休診
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30		新潟大 渡辺(真)2・16・30日 金丸(祥)9・23日	新潟大 佐久間(英) 3・17・24日 片桐(渉)10・31日	新潟大 竹内(涼)4・18日 長谷部(大) 11・25日	新潟大 竹内(涼)5日		

予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般的にご相談ください

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等のお知らせ

内科	阿部院長	10月4日(木) 休診 (他医師の代診有)	小児科	10月12・26日(金) 午後休診 (町の乳幼児健診のため)		
	菅原医師	10月より菅原心平医師が毎週月曜日の午後 に診療にあたります。		歯科	飯田歯科医師	10月4日(木)・5日(金) 休診 (他歯科医師の代診有)
	後藤医師 渡部医師	毎月第2及び第4木曜日の午後の外来は休止 とし、検査のみとなります。			10月6日(土) 休診(振替休診)	



小国町立病院

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地
http://www.ogunibyoin.jp/

☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

歯科直通 0238(62)2513

小国町立病院

検索

ほっと通信

小国町立病院

平成30年10月1日発行

第60号

発行：小国町立病院情報管理委員会

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

Topics

三色おはぎと秋の味覚で元気に ~敬老の日行事食~ 出来事・話題

療食係では、9月14日(金)の昼食に「敬老の日行事食」を提供しました。

この日の献立は、三色おはぎ、芋煮、ほうれん草と菊の和え物、和梨などでした。

高齢の患者さんが多い当院では、敬老の日の行事食には、人気の高いおはぎを毎年提供しています。食事は治療の一環であるとともに、入院生活における楽しみの一つであり、生きる気力の源です。療食係ではこれからも食べる楽しみをサポートしていきます。



造影剤の基本を学ぶ

~医療安全研修会~

造影剤についての医療安全研修会を8月27日(月)と9月5日(水)の2日間に実施しました。

造影剤は、CT検査、胃や大腸の透視検査の時に、病気を発見したり病気の状態を把握したりするために使用するもので、当院の伊藤放射線技師が『造影剤の基本と造影CTチェックシートの運用』と題し、造影剤の副作用や、造影CT



検査の色々な疑問について、全職員を対象として説明を行いました。直接医療に関わらない職員も、自分や家族が使用する場合に役立つ造影剤の基本について理解を深めました。

また、新しいCT撮影チェックシートの運用方法と注意点について、看護師など造影検査に関わる職員と確認を行いました。

医局から

平成30年4月から内科常勤医として勤務していた渡邊敏治医師が、9月いっぱいまで異動になります。

渡邊医師からメッセージ

半年という短い期間でしたが、ありがとうございました。ようやく顔を覚えていただいたところでの異動となり、とても寂しいですが、今まで経験できないこともやらせていただき、貴重な半年間でした。どうか皆様もお元気にお過ごしください。



渡邊敏治医師

「医療の現場から」では、医師や看護師などの医療現場のスタッフから、医療に関する情報をお知らせします。

とがし けいた とうようびょうもうまくしょう
眼科の富樫敬太医師から『糖尿病網膜症』に関するお話です。

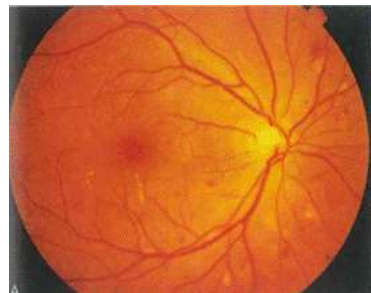
今年の4月から小国町立病院眼科で診療にあたっております、眼科の富樫敬太です。今回のほっと通信では**糖尿病網膜症**についてお話ししたいと思います。

糖尿病網膜症とは

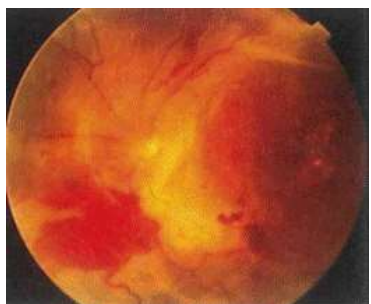
糖尿病網膜症は一言でいうと、**糖尿病により網膜の小さな血管が傷んでしまう病気**です。はじめのうちは小さな血管のコブができたり、ぼつぼつと網膜に出血したりする程度ですが、徐々に、網膜の血めぐりが悪くなってきます。そうしているうちに、もろくて**すぐに破ける悪い血管（新生血管）**が生えて、眼の中で**大出血（硝子体出血）**を起こしてものがよく見えなくなったり、新生血管が眼の中にある水の通り道（隅角）を詰まらせて**眼圧が跳ね上がり**、目が痛くなるばかりか最悪の場合、緑内障により**失明**したりすることもあります。



眼科外来担当
富樫 敬太医師



初期糖尿病網膜症の眼底検査画像
 (出血はぼつぼつあるが視力良好)



重症糖尿病網膜症の眼底検査画像
 (硝子体出血で視力低下)

続いて、外来にいらっしゃる患者さんからよくいただく質問です。

さんどう
なぜ散瞳しなければならないのか？

散瞳とは目薬を使って黒目（瞳孔）を広げることです。散瞳をしなくてもある程度診察することはできますが、眼底の隅々までは診ることができません。糖尿病網膜症の初期の小さな出血は端っこにあることも多いので、散瞳して検査することが望ましいです。

今は見え方に困っていないのになぜ定期受診が必要なのか？

糖尿病網膜症の初期はぼつぼつと網膜に出血がある程度で、特に自覚症状もないと思います。小国町立病院ではレーザー治療や手術治療を行うことができませんので、定期診察で糖尿病網膜症の状態を診ながら、糖尿病網膜症が悪くなりそうな時期にしかるべき医療機関でスムーズな治療を行ってもらえるように橋渡しをするのが、当院眼科医としての私の役目です。

最後に

糖尿病網膜症は、現在**日本での失明原因の第2位**です。しかし、内科の先生に従ってしっかりと血糖コントロールを行い、適切な眼科治療ができれば、失明を防ぐことも可能です。ものを見る喜びを感じて生きるお手伝いが少しでもできればと思い日々診療しています。気になる事がありましたら、気軽に相談してください。

私の仕事

病院では、医師を中心とした様々な専門職が1つのチームになり、医療を提供しています。医療現場の裏側を交えて、当院の職員の仕事を紹介します。



医事担当
今 陽子
 (平成28年入職)

普段の医事（医療事務）の業務内容を教えてください

大きく分けて、受付業務・会計業務・レセプト請求業務があります。患者さんが来院されると、保険証の確認をさせていただいています。診察が終わると、診療報酬点数に基づいて、その日の診察の内容を点数化して計算し、お会計を出しています。入院された場合は、月末または退院まで、まとめてお会計を出しています。患者さんが負担する金額は、多い方でも3割ですので、残りは保険証に書いてある各保険者に請求します。患者様ごとに診療報酬明細書（レセプト）を作成し、毎月請求業務を行っています。ほかにも書類の依頼を受けたり、カルテの管理を行ったりしています。

普段、心掛けていることや大切にしていることを教えてください

細かいルールがたくさんあり、診療報酬点数も2年ごとに改正になるため、毎日が勉強です。覚えるのが大変ですが、一つひとつ丁寧に仕事をするのを心掛け、また、患者さんが少しでも不安な気持ちを持たないような対応、気配りを大切にしています。

仕事のやりがいやうれしかったことを教えてください

受付には様々な方がいらっしゃいますが、お待たせすることのないように対応できたときはよかったです。困っている方に対応した時に「親切にしてもらってありがとう」とお言葉が返ってきたときはうれしかったです。

これからの目標を教えてください

未経験で入職して、日々の受付業務を行いながら医療事務の勉強をして資格を取りました。会計業務に携わるようになってもうすぐ2年ですが、医事の中では1番新人なので、より知識を深めて患者さんのお役に立てればと思っています。



ハチなどの

アナフィラキシーショックに注意!

アナフィラキシーとは、短時間に全身にあらわれる激しい急性のアレルギー反応です。症状としては、**胸が苦しくなる、呼吸が苦しくなりヒューヒューとなる、吐き気、皮膚のかゆみ**などがあります。さらに、症状が急激に変化し、**血圧が低下するとアナフィラキシーショックになり、生命を脅かす危険な状態**になることがあります。

アナフィラキシーを引き起こす原因には、食べ物の摂取、虫さされ（ハチ、アリなど）、薬物、ラテックス（天然ゴム手袋など）、運動や寒冷、日光の刺激などがありますが、**夏から秋にかけてのこの時期は、蜂（スズメバチ、アシナガバチ、ミツバチ）の活動が活発**になるので、近づいたり、刺激したりしないなど特に注意が必要です。

アナフィラキシーがあらわれたら、速やかに医療機関を受診する必要があります。以前に重いアナフィラキシーを起こしたことがある場合は、血圧を上げてアナフィラキシーショックをやわらげるために**アドレナリン自己注射（エピペン）**を処方されることがあります。アドレナリン自己注射は医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤です。処方する医師はエピペン処方医師としての登録が必要ですので、まずはかかりつけ医にご相談ください。